

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

取組①: 学校インターンシップの実施 (受講対象 全学2～4年 通年)

目的: 附属学校において、授業、特別活動、部活動などの教員の日常業務を観察、体験し、学校における教育活動についての実際の、具体的理解を深める。同時に、児童、生徒への理解も深める。教育実習への円滑な導入と、教育実習後の継続的な学校との関わりを期待している。

内容: 授業導入時にインターンシップの内容、心構え等について講義を行い、個々の活動計画を作成する。その後は、それぞれの活動計画に沿って実習を行う。定期的に集合して、インターンシップに関する報告を行い、それぞれの体験を共有する。

●学校インターンシップ科目 近年の参加人数の学校種内訳 (延べ人数、全て附属学校園が対象)

科目名称	R6	R5	R4	R3	R2
学校インターンシップ	19	45	19	29	31
(うち小学校)	11	27	15	16	19
(うち中学校)	7	12	3	9	9
(うち高等学校)	1	6	1	4	3

取組②: 教職課程に関するFDの実施

(対象 教職課程を設置する学科の所属教員全員)

目的: 本学の教職課程の問題や課題を自覚し、その改善策を教職課程担当の全教員で共に検討することを通して、全学的に教職課程の水準を向上させること。

内容: 自己評価を行う4年に一度、教職課程専門部会長・教育実習専門部会長との合議により、その時に生じている教職課程の抱える課題を題材として実施する。

●実施年度

令和4年度: 教育実習における問題をテーマに、学生が抱える問題の検討について、実習受入先の附属学校園教員を招き実習先で生じている問題を聞き、その対応について大学側で可能な対処について意見交換を行った。